

事後評価結果の概要

1 評価対象事業箇所

県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所のうち、9箇所の評価を行いました。

2 評価内容及び結果

評価内容ごとに基準を設け評価を行いました。

評価内容	評価結果			
	A	B	C	D
事業効果の発現状況(直接的効果・間接的効果)	2	7	-	-
事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	6	3	-	
施設の維持管理状況	-	9	-	-
地域住民等の評価	9	-	-	
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	-	9	-	

<評価ランクの基準>

①事業効果の発現状況 (直接的効果、間接的効果)	A: 目的を超えた達成 B: 達成した C: 概ね達成 D: 達成したとはいえない
②事業実施に伴う自然環境・ 生活環境等の変化	A: 環境が良くなった B: 大きな影響なし C: 影響が大きい
③施設の維持管理状況	A: 地域の人たちの参加あり B: 適切 C: やや不十分 D: 不適切
④地域住民等の評価	A: 評価が高い B: 中程度の評価(A,C以外) C: 評価が低い
⑤事業の主たる目的以外で 地域社会への貢献状況	A: 貢献度が高い B: 貢献している C: 特になし

3 第三者意見の概要

県が事後評価を実施した9箇所を審議(うち3事業を抽出し詳細な審議)し、県の事後評価案は妥当と判断されました。

平成 26 年度 公共事業事後評価実施箇所一覧

事業名	箇所名(市町村名)	主な事業内容	総事業費 (百万円)	工期
急傾斜地崩壊対策等	宮淵 (松本市)	擁壁工 L=63m 法留棚工 L=30m	269	H11~H20
県営ため池等整備	河南 (伊那市)	BOX カルバート L=196m BOX 更生工 L=71m	94	H17~H20
山地治山	内の萱 (伊那市)	谷止工 3 個 床固工 5 個 森林整備 30ha	232	H18~H20
砂防	麻績 (麻績村)	砂防堰堤工 3 基	582	H14~H20
広域河川改修	万水川 南穂高 (安曇野市)	掘削護岸工 L=7,400m	7,509	S43~H20
道路改築	(国)406号 百瀬~茂菅バイパス (長野市)	道路改築工事 L=4,220m W=6.5(12.0)m	12,510	S52~H20
街路	(都)旧国道線 屋代 (千曲市)	拡幅改良工 L=440m	1,721	H13~H22
交通安全施設等整備	(一)車屋大久保線 殿島 (伊那市)	歩道設置工 L=600m W=2.5m	666	H17~H22
県営畑地帯 総合土地改良	黒沢北 (安曇野市)	畑地かんがい A=296ha	822	H11~H20

(注) 着色: 抽出箇所

4 公共事業評価監視委員会からの主な意見

(1) 県営ため池等整備 河南(伊那市)

- 本事業の実施経過を、採用した工法の活用を含めて、今後の同種事業計画に反映する必要がある。

↓ 工事箇所周辺の枝垂れ桜に配慮した新工法(BOX 更生工)を採用(4 工区)



↓ BOX 更生工完成状況



(2) 山地治山 内の萱(伊那市)

- 現場の経年変化に応じて、既存施設の効果等を確認し、より効率的な全体計画になるよう見直しを行っていく必要がある。

↓ 既存施設の施工効果等を確認し、より効率的な全体計画になるよう見直して新設した谷止工



新設した床固工↓



(3) 道路改築 (国)406号 百瀬～茂菅バイパス(長野市)

- 時間短縮、災害危険箇所解消、交通事故件数減少など、事業効果が確認できる。

↓ 茂菅大橋～頼朝山トンネルの状況



茂菅橋付近(すれ違いが困難)↓



(4) 抽出以外の箇所

- 抽出以外の6事業については、事業効果の発現状況、事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化、施設の維持管理状況、地域住民等の評価、事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況等から各事業の県の事後評価案について妥当と判断した。